

誰もが安心
して暮らせ
る町づくり
をめざして

名北福祉会 広報誌

2025 9 Sep No.67

みんなの夢

2025年9月1日発行（年3回）

発行所／社会福祉法人名北福祉会

発行人／佐藤 悦弘

〒462-0804 名古屋市北区上飯田南町5-53 TEL:052-910-3066 FAX:912-5188 HP:<https://meihoku-fukushi.org/>



めいほく保育園



くさのみ保育所



めだか保育園

保育部 みんな笑顔



なえしろ保育園



第二めいほく保育園



めいほくつぼみ
保育室



やだ保育園

2025年役員改選年度により改選を行いました。
今回の改選により理事長を黒川富子より佐藤悦弘に交代することになりました。よろしくお願いいたします。

理事長就任あいさつ

社会福祉法人名北福祉会

理事長 佐藤 悦弘



このたび、6月19日をもまして、社会福祉法人名北福祉会の理事長に就任いたしました。

名北福祉会は、共同保育所の開所から62年が経ちました。地域のみなさんの要望に応えながら、保育から障害、高齢の事業を進めています。保育所から始まった地域の運動は、すべての人々たちを対象にした、「ひとりぼっちをつくらない」地域づくりで発展しました。法人が築いてきた、地域のつながりは、かけがえのない財産であり、実践の中でつちかかってきた集団の

力は、次なる地域づくりの運動の源泉にしなければなりません。

私自身は、法人に入職して28年足らずで、名北の半分の歴史も知りません。こんな自分で務まるのだろうか、と自問自答を繰り返してきましたが、みなさんに支えられながら気持ちを固めてきました。少子高齢化、未曾有の人材不足、急速な世の中のデジタル化、南海トラフ大地震、大規模法人化など、これまではなかった課題に法人は直面していきます。地域のみなさんのお力なくして、乗り越えることはできません。

微力ではございますが、先人のみなさんと共に作り上げてきた理念、実践、歴史を引き継ぎ、みなさんの要望に応えながら、法人と地域を守っていく決意です。引き続き、みなさまからのご支援、ご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

理事長退任のあいさつ

前理事長 黒川 富子



私が、名北にかかわったのは「新名北共同保育所」が開所した年に正規職員として入職しました。

当時、正規職員4人、パート職員2人、子ども20人で、6畳3つと台所の小さな保育所でした。それでも間借りから多くの人たちの借金でできた“独立した保育所”です。

今、共同保育所誕生から62年、600人を越える職員、30施設と当時では全く想像もできないほど大きくなりました。

共同保育所の中から地域の人たちに支えられ、保護者、家族の方々にも支えられてきました。

“ひとりぼっちをなくせよう”

“ひとりぼっちにならない”

“どんな要求についても断らない”

と自分たちだけでは困難なことも、どうしたらよいかを徹して話し合い1つ1つの施設づくりにつなげてきました。そうした力の結果があったからこそ今があるのだと思います。

福祉施設をつくる地域から迷惑施設ということで反対に思い苦労したという話をよく聞きました。だが、名北の場合は、むしろ好意的に受け止めていただき建設をすることができました。

大変なこともありましたが、たくさんの方と共に名北の取り組みの1つ1つにかかわることができたことは本当に幸せでした。

今後、70年・100年と続く中で、役職員の皆さんが地域の方々と力をあわせて“誰もが豊かに安心して暮らしていける地域づくり”にこれからも頑張っていたでけるであろうことに確信し期待すると同時にとても嬉しく思います。

これまで本当に長い間支えていただいた多くの皆さんに心から感謝申し上げます。

本当にありがとうございました。



今年度は「主任会」「給食」「保健」「子育て支援」の各担当者と連携し、実技的学習や体験・交流を通して学びを深めていきます。法人内の視察も引き続き行い、各園の保育をお互いが知り合い、保育を高め合っていきます。

8月には「包括的性教育」「人権」をテーマに保健と連携をし、助産師の森川和枝先生を招いて学習会を行いました。また2020年に発行した『名北福祉会の保育Ⅱ』の見直し、今まで積み上げた異年齢保育の実践を踏まえ充実させた



リズム・わらべうた

改訂版を作っています。

今回は、主任会が中心となり6月から7月にかけて行った、リズム・わらべうた、描画、環境設定の学習交流会について紹介します。

リズムあそびは大人がまず楽しむこと、わらべうたは心地よさを感じてもらうことをねらいに計画

描画

しました。感想では、「身体を動かす面白さ、心地よさは工夫次第でできることが広がる」「リズムあそびがどんなものか理解することができた。実際に体験できたこともプラスになった。」「わらべうたは年齢・子どもの様子に合わせて色々応用できるところがおもしろかった。」など学習会で学んだことを子どもたちと楽しんでいきたい思いが出されていました。

描画の発達段階、取り組み時に大切にしたいことや捉え方、子どもの発達に合った画材や道具の紹介、技法あそびの作品を見て学習しました。描画では子どもとの対話や様子を紹介し、「どのくらいのパースで描画してる?」「子どもへの声掛け悩むよね?」など日頃の悩みを交流しました。「てんてん遊び(技法)」の体験では、「大人もはまっちゃうね。」「明日、これやってみよう。」など好評でした。豊かな生活とあそびが子ども



の描きたい(表現したい)気持ちに繋がることを確認し、今後の保育に取り組んでいきたいとの感想が出されました。

環境構成

0歳児・異年齢担当に分かれ、おへやの設定を考えあい、良さや悩みを交流しました。

設定では、『子どもの目線の先に興味のあるおもちゃを配置することや』発達や季節でおもち



やを変えていく』など、話しながら一緒に考え構成しました。園ごとに部屋の配置写真を持参して見合いながら「ここはどうなってる?」「雨の日の設定はどうしてる?」「静と動をどうわけてる?」「運動的なあそびは?」など悩みも出されそれぞれの園が工夫していることや様子も交流でき、学びが深まりました。



平和のとりのくみ

戦後80年となりましたが、戦争も核兵器もない世界になることを願い、取り組みを紹介します。

第二めいほく保育園

8月7日に絵本『くつついた』『どつぞのいす』のペープサートを見ながら、【平和のはなし】をしました。

平和というと難しいけれど、好



きな人と一緒に嬉しいな、という気持ちや、いつもいつもは難しいけど、「どつぞ」と少しやさしい気持ちを持ち寄ったら、みんなが楽しくなるね、そんな話をしました。

子どもたちが、毎日好きな人と笑顔で過ごせる日がずっと続くとめに私たち大人がすることも考えていきたいです。



めいほく保育園

めいほく会では、お迎え時に父母によびかけ、鳩の形の色紙に平和の願いを描いてもらい、歴代の鯉のぼりに貼りつけました。

6月8日の平和行進にその鯉のぼりのタペストリーを持って参加しました。

NHKの朝ドラマ「あんぱん」ではちょうど戦争は嫌だと思ってる人のもとに赤紙が届き戦争に駆り出されるところが描かれていて、そんな世の中にならないように、子どもたちが戦争に巻き込まれないようにと願ってみなで歩きました。

来年も平和を願い一歩でも一緒にあるきましょう。



第57回全国保育団体合同研究集会在群馬

8月2日(土)〜4日(月)

「こころをつなごう手をつなごう あふれる笑顔と平和のために」をテーマに開催。

保育部からは9人が現地参加をしました。

迫力ある群馬合研を現地で！

めだか保育園 青木 涼葉

保育士5年目で初めて現地での合研に参加しました。今まではオンライン参加でしたが、現地で見えるオープニングは熱量を間近で感じ、迫力満点でした。2日目は障がいを持った子どもへの関わりを中心に学びたいと思ひ、障がい児保育の分科会を選択しました。子どもの権利について考えたり、集団としてはなく「個」の混ざりあいという視点から子どもたちの本当の声を聞くという実践を聞き、障がいの有無にかかわらず保育全体の見方を見直さなければ…



というきっかけになりました。全国から集まった保育士さん達と交流できて、現場のリアルな声を聞けたのでとても刺激的な学びとなりました。5年目という節目の年に現地参加でき学びが深まったことで、明日への活力にも繋がり、良かったと感じています。

2025年度国会請願署名活動スタート

こどもたちのために保育予算の大幅増額を！

私たちのねがいは、だれもが安心して子どもを生き育て、いきいきと働ける社会、子どもたちが大切にされ未来に希望のもてる社会の実現です。そのためにも子どもの育ちと子育てを公的に支える保育・学童保育の整備・拡充はまっただなしの課題になっています。

しかし、国における財源確保や条件整備はまったく十分とはいえません。保育・学童保育の現場では責任の重さにもかわらず、給与水準や労働条件の低さにより、保育士等職員の不足がいつそう深刻になっています。加えて急激な物価高騰への国の対応が不十分のため、保育・学童保育の安定的な運営が難しくなっています。

すべての子どもの健やかな育ちを保障することは国・自治体の責任です。どこで暮らしていても、豊かな保育と健やかな育ちが格差なく保障されるよう、子どもたちの予算を今すぐ増やしていくことが求められています。

☆署名にご協力よろしくお願ひ致します。

子どもたちのために保育予算の大幅増額を！

職員配置 すべての年齢で配置基準のさらなる改善を！
3歳児、4・5歳児児数増減率ににつき、今年度から1歳児でも削減の恐れがあります。1歳児では削減の恐れが大きい。1歳児は、4・5歳児と同様に、保育士の確保が求められます。

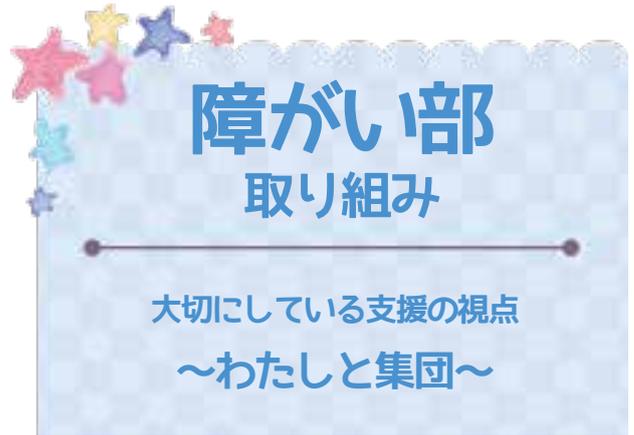
資金格差 保育士の賃金引き上げを！
保育士の賃金は全国平均と比べて6万円も低く、子どもの育ちや発達を保障する専門職にふさわしい賃金、適切な保育士不足の解消につながります。保育の質の向上のためにも、保育士等職員の確保、賃金と労働条件の大幅な引き上げが緊急の課題です。

子育て予算 子どもたちのための予算をもっと！
日本の政府予算は、国家予算が増える一方で、教育費など国民生活にかかわる予算がとてども削減されています。すべての子どもに豊かな保育・学童保育が保障されるよう、子ども子育てのための予算を大幅に増やすべきです。

大々大の7こどもでも通園料減免
子育てを支えるためのさまざまな施策に拡充。国に併せて、6歳未満の子どもの通園料を月1000円程度減額する「こども通園料減免」を2026年度から全国一律で実施するとしています。この制度は、子どもを養育しない親や祖父母などで育てる子ども、子どもの命と健康、有償への教育、保育料への負担軽減などの観点から、経済的や精神的な負担が大きいとされています。制度に当たっては、子どもの権利を尊重し、親や祖父母に負担をかけることがないよう、公的責任のもとで十分な条件・予算の確保が求められています。

署名にご協力ください！
子どもたちには権利を奪われる権利がありません。国と自治体にはそれを保障する責任があります。子どもたちのために私たちの願いと署名を託して、いっしょに声を届けましょう！

子どもたちのために！ 声、つなごう！ 署名しよう！
よいよい保育党！実行委員会【2025年度版】
連絡先：全国保育団体連絡会
〒110-0007 東京都港区赤坂2-1-1 TEL:03-6362-0111



日中事業所

ふたりでも集団

障がいのある方の中には、人が多い場所が苦手な方がいます。聴覚や視覚が過敏だったり、人の視線が気になったり、情報の取捨選択が難しい障がい特性を持つ方にとっては、人が集まる空間はまるで「交差点の真ん中」で生活しているような感覚かもしれません。



それでも、自宅にこもるのではなく、地域の施設に通うことができ、それは大きな一歩です。まずは職員と1対1で過ごすことから始め、その方の好みやコミュニケーション方法が分かってくれば、同じことが好きな仲間を誘い、「二人の活動」にしてみます。二人いれば、もう「集団」です。自宅にいた時とはまるで違う世界です。



児童デイサービス

「こうしたいな！」を大切に

のびのびクラブの「室内アスレチック」では、緩衝材を敷いた床に平均台を置いて渡ったり、吊るしたテープを使って感覚遊びをしたりしています。のびこの「パラバルーン遊び」では、ふわっと広がる布の中に入って、全身で楽しむ子どもたちの姿が見られます。

夢中になって遊んでいるうちに、一人、また一人と加わり、いつの間にかみんなの「大型船」になっていく——そんな瞬間がたくさんあります。



個別でも集団でも自由に参加できる活動を通して、体を動かすことが好きな子どもたちが自然と関わり合い、集団ができあがっていきます。こだわりや苦手なことがある子ども、好きなことに夢中になることで、驚くような変化を見せてくれます。



職員全員でアイデアを出し合いながら、子どもたちの「こうしたいな！」を大切に、集団遊びの工夫や発展、友だちとの関わりへとつなげていきます。

暮らしの場

私の家と呼べる暮らしの場に

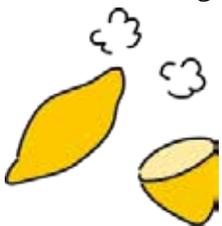
平日は仕事や活動のために日中施設へ出かける利用者さんたちも、土日のホームではゆったりとした時間を過ごします。責任から少し解放されるこの時間は、誰にとっても大切なひとときです。

ときには何日も前から仲間同士で話し合い、美味しいものを食べに出かけたり、カラオケを楽しんだりすることもあります。楽しみを共有することで、日中の事業所や世代を超えて、次第に「暮らし



の場のグループ」になっていくのです。

また、グループ活動とは別に、個人のリクエストによる外出を行うこともあります。体制の都合ですべてに応えることは難しい面もありますが、「自分だけの願い」も大切にしたいと考えています。実家ではないけれど、「私だけの思い」を叶えられる場所——そんな、「本当に私の家」と呼べる暮らしの場を目指しています。



きょうされん全国大会 in 奈良

障がい部職員の

学びとつながり

今年の「きょうされん全国大会」は奈良で開催されます。私たちは人からは障がい部の職員が10名余り参加し、全国各地で支援に携わる仲間と交流します。日々の実践

を振り返り、より良い支援のあり方を探るための大切な学びの場です。職員一人ひとりが積極的に参加し、新たな気づきや視点を持ち帰ることを目指しています。大会で得られた学びを法人全体に知らせ、利用者の皆さんの暮らしに生かしていけるよう努めてまいります。

きょうされん
第48回全国大会
in 奈良

はじめよう
戦後80年から
咲かせよう
まんまの笑顔を
～みんなのチカラ
奈良の地から～

と き
2025 10/17日・18日

と ころ
奈良県コンベンションセンター
奈良市三輪大道一丁目691-1

主催：きょうされん
協賛：奈良県、奈良県教育委員会、奈良県社会福祉協議会、奈良市、奈良市教育委員会、奈良市社会福祉協議会

高齢部 取り組み

私たちが大切にしている
介護

高齢の事業所を立ち上げた
2004年から、大切にしてい
ることが3つあります。

一つは、みなさんの居場所づく
り、役割づくり…ここにきたら
ほっとする。私はここにいてもい
いんだ。年を重ねても、できない
事が増えても、だれかの役に立っ
ていると思ってもらうことです。

二つめは、お互いの違い（人格）
を認める事・・・人生経験を重ね
た皆さんも職員も、それぞれの生
き方があり、それぞれ個性的で
す。その違いを認めることで、お



互いに生きやすくなると思ってい
ます。

三つめは、地域の中で信頼され
る事業所・・・ご近所さんからな
にかあつたら、声をかけてもらえ
る。地域の方と、日常的に一緒に
関われる事業所です。

介護が必要になったら声をかけ
てもらえる、そんな施設でありた
いです。

利用者さんとの関わりで
心がけていること

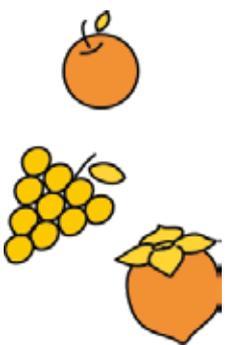
ご本人の想いの声を聞き取りな
がら「ご本人の嫌なことはしない」
と言つ事です。

日々の介護の中では、季節感を
大切にしたり行事や、おでかけ、食
事の提供、おやつ作りなどに取り
組んでいます。

デイサービス、小規模多機能事
業所では、自宅で暮らし続けたい



思いをご家族や地域の方と一緒に、
ニーズを探りながらできるだ
け支える支援。認知症対応型グ
ループホームでは、いままでのそ
の方の生活習慣、好きなこと、得
意なことを生かして自分らしい生
活を大切にしています。



高齢部の地域のつながり

守山地域では、月に1回のお便りの配布や、施設の草刈りをして事業所を支えてくれる地域の方がみえます。お茶会は25年も続いています。「町南まつり」は、地域が広がり、町北の放課後デイサービスや障害者グループホームとの合同開催となりました。

上飯田南町は、共同保育所から60年この地で培ってきた地域の皆さんとの関係があります。

昨年の秋祭りの前に太鼓や花火の音でご迷惑にならないように、



ご近所を回らせていただいた時には、「お好きにやって下さいね」と言っていただけでした。

町内会の催しに参加させてもらったり、ふらつとるーむでのさまざまな催しに参加する事で、地域の一員に入れてもらえたらと思っています。また介護の困り事があったら気軽に相談できる存在になりたいです。



今年も開催！めいほく守山まつり

つながりを広げる地域の交流の場

日時：11月9日(日)10:00～14:00 (少雨決行・予備日11月16日)

会場：「のびのびクラブ」「のびっこ」駐車場・施設内です。

名北福社会では、地域の皆さんと共に楽しみ、交流を深める「めいほく守山まつり」を今年も開催します。

昨年度は音楽やダンス、地域団体の協力による出し物や模擬店など、多彩な催しでにぎわいました。利用者さんやご家族、地域の方々の笑顔があふれ、世代を超えて「つながり」を感じられるひとときとなりました。

今年も職員や利用者が力を合わせ、バザーや模擬店、音楽ステージなどを企画しています。日々の暮らしの中で培われた力を発揮し、地域のみなさんと一緒に楽しめるお祭りを目指しています。

皆さまのご参加を心よりお待ちしております。



「地域の皆さんと一緒に、にぎわいあふれる会場の様子」

地域生活部 取り組み

大切にしている支援の視点

ケアプラン町南

「地域の人たちとのつながりを大切にしています！」

今年の夏はとても暑かったですね。6月頃から暑く、9月も暑さが続いています。熱中症の予防に心がけ、案内のパンフレットを事業所内で掲示し、利用者のみならずにも気をつけてお過ごしに、と説明もさせていただきました。地



域で暮らされる方々が気軽に足を運んでいただける場のほちほちカフェでは、勉強会、ゲームを体験いただきつつ、涼む場としても活用していただけたかなと振り返ります。地域の皆様とのつながり、一体感はこちらから大切にしていきたいと思えます。

相談支援センターめいほく

「一人ひとりに寄り添った支援を目指して」

支援の主役は、ご本人だということが最も大切な視点です。生き方や希望など尊重し、ご家族等の想いをくみとり、ご本人にとって最善の利益につながる支援を心が

けています。困り事や希望はそれぞれ違いますので、まずは、じっくりお話を聴くことも大切です。言葉だけでなく、その背景や気持ちに寄り添い、医療や福祉、行政など多職種と連携しながら、ご本人が地域でその人らしく生きられるよう支援していきたいと考えています。

ヘルパーステーションそら

「小さな『できた!』を大切に」

支援で大切にしていることは、ご本人の力を発揮できるように「出来ないこと」に視点をあてるのではなく、「出来ること」を最大限に活かすという視点です。過



度な支援をさげ自分で出来ることは、ご自身で行ってもらい、意思を持って生活を送れるようにサポートします。気持ちに耳を傾け否定せずに受けとめ安心して支援を受けられるよう配慮する姿勢も大切です。利用者の状況や変化を細かに観察し必要に応じて多職種と情報を共有することも必要です。もちろん安全配慮は、欠かせません。



2024年度
法人事業報告

1. 重点課題としては

①新規事業の安定した運営

☆2024年4月より新たに事業を開始しました。

- ・児童発達支援事業「のびっこ」を開所しました。保育園の在園児や卒園児の利用ができるようになり法人内連携した対応ができるようになりました。

- ・「茶食ぼちぼち」をめいほく共同作業所の生活介護支援事業として運営。作業所の利用者や有償ボランティアさんが食器洗い、接客の仕事をしてくれました。ぼちぼちの職員も支援に慣れてきました。

②名北福祉会60周年記念DVDが完成しました。

2023年10月60周年を記念して記念誌は完成し、DVDの作成が遅れていましたが完成しました。

③デイサービスへいわの開所

合併して2年ですが当初より

課題になっていた利用状況、修繕か所増等で赤字解消の見通しが持てないと判断し、2025年3月で閉所することになりました。

2. 民主的な経営・運営について

(1) 法人体制の強化

- ・施設長会、分野、専門部等で定期的に会議を開き方針に基づき取り組んできました。
- ・専門部（人材育成部、人材確保部、地域貢献部、広報部）で取り組んできました。

(2) 法人財政健全化計画の実行

- ・定員充足、加算取得、障がい部の日中事業所の機能分化、人件費比率など財政健全化等に取り組んできました。

(3) 労働環境を改善

- ・2024年度も10月に最低賃金改定、保育では人勤差額精算、障がい高齢では処遇改善手当を支給しました。

- ・職員一人一人が理念や諸規程を理解し、職員のモラルづくり、ハラスメント防止、職場ルール遵守、リスク回避などに努めて

きました。

(4) 法人の事業を知らせ、法人応援団を増やす活動をすすめてきました。

法人機関誌「みんなの夢」年3回（63・64・65号）定期発行をし、OBや関係者に届けていきます。ホームページの内容更新にとりくんできました。充実させていきます。

「名北福祉会を支える会」は、OBや職員・保護者はじめ支える会の会員となって法人を支えていただいています。会員を増やす手立てを検討していきます。

3. 平和で豊かな住みよい街づくりにむけ諸団体と連携して運動にとりくみます。

(1) 社会保障の拡充のとりくみ

- ・国民の命と暮らしを支える責任について「自助・共助・公助」を強調し社会保障を削減するのではなく、憲法25条が定める生存権保障に基づいた「公的保障」権利としての「社会的福祉」を求めてきました。

(2) 平和・環境のとりくみ

平和を抜きにして社会保障・社会福祉の充実はありません。主権者として平和とよりよい環境を自ら築き上げる運動を積極的にすすめてきました。

- ・8月の平和行進への参加、「いのち、くらし、地域をこわす戦争準備の大軍拡、大増税NO！北区連絡会」での毎月の宣伝行動やアピール行動に参加してきました



した。

(3) 他分野との連携と協同

地域のさまざまな要求を把握し、地域に必要な事業に応えられるよう取り組んできました。

- みなみ町福祉センター「地域交流センターふらっとるーむ」は、地域に気軽に借りられる施設として関係者の方々が利用されています。
- 「茶食ぼちぼち」は、ランチの利用が増えています。居酒屋ほちぼち、ぼちぼちカフェ、歌う喫茶ぼちぼち、麻雀教室、ぼちぼちまつり、ちぎり絵、美術展子ども食堂など地域のみなさんの「集う場」となっています。
- 東町交流センターでは、「ぱれつ」と「居場所づくり」、「いっぽ教室」日本語教室など利用されています。
- 友の家まつり（10/12）守山まつり（11/24）を開催しにぎわいました。

2025年度
法人事業計画

〈重点課題〉

*法人財政健全化計画の実行

財政健全化が緊急課題です。新規事業の課題や各事業所課題に対して改善できるように目標をたて運営していきます。

*人材確保・人材育成をすすめます

人材確保と定着にむけ、つながり紹介、奨学金制度創設、ホームページ充実、同期会や働きやすい職場づくり、人材育成の充実など専門部のもとすすめていきます。

*地域との共同で拠点づくりをすすめます。

福祉避難所など各事業所のある地域で頼りにされるよう方針をもって取り組んでいきます。

*各施設の実践の充実

各施設が課題にそって実践に取り組みます。

〈2025年度 法人役員〉

役員改選年度により改選を行いました。今回の改選により理事長を黒川富子より佐藤悦弘に交代することになりました。よろしくお願いいたします。

評議員		監事	
定数9名	任期4年	2名	任期2年
富田 哲朗	塚本 正	水野 達彦	久田 浩一
田中 耕治	柘植 さとみ(新)	若山 悦子	真坂 一彦
篠宮 雄一	評議員選任・解任委員	寺西 明美(新)	稲川 勝紀(新)
横井 透	5名	任期4年	
伊左治 真	加藤 登美		
近藤 守平	菊田 恵加(新)	退任	
本田 直子	市川 敦子	理事	
加藤 尚子(新)	塚本 正(監事)		
塩川 智代(新)	柘植さとみ	評議員	寺西 明美
理事	(監事・新)		
8名	任期2年		
黒川 富子	30名	任期2年	監事 佐尾 和彦
本田 たみ代	評議員 9名	理事	牧野 茂子
佐藤 悦弘	8名	監事2名含	運営協議会委員
伊佐治 尚美	正次 正男		小林 正巳
太田 輝美	水野 孝安		評議員選任・解任委員
光岡 ゆかり	菊田 道敏		木村 恵美
岩橋 和裕	中尾 安男		
佐藤 純治(新)	長尾 忠昭		

社会福祉法人 名北福祉会 決算書

事業活動収支計算書 ～利益報告書～

(自) 令和6年4月1日 (至) 令和7年3月31日

(単位: 千円)

	本部・地域貢献・収益	保育園	障害	高齢	地域生活	合計
【収入の部】						
就労支援事業収益	0	0	30,680	0	0	30,680
運営費・支援費・補助金収益	2,948	1,093,379	739,430	343,239	196,667	2,375,664
利用料収益	0	0	0	0	0	0
寄附金収益	5,505	19	112	0	0	5,636
雑収益・受取利息他	3,678	3,027	10,503	22,756	170	40,134
事業収益合計	12,131	1,096,425	780,726	365,995	196,837	2,452,114
固定資産受贈額	0	0	30	0	0	30
借入金補助金収益(元金・利息)	0	12,026	12,178	0	0	24,204
施設間繰入金収益	43,000	0	127,738	5,076	211	176,026
固定資産売却益	0	0	72	0	0	72
その他の特別収益	0	0	0	0	0	0
収益合計	55,131	1,108,451	920,745	371,071	197,049	2,652,446
【支出の部】						
就労支援事業費用	0	0	36,142	0	0	36,142
人件費支出	5,167	864,714	633,485	286,657	73,696	1,863,719
事務費支出	10,618	47,545	65,990	26,777	9,653	160,583
事業費支出	1,586	76,361	68,993	46,243	292	193,475
減価償却費	2,258	47,326	49,922	49,350	726	149,583
国庫補助金等特別積立金取崩額	-748	-28,195	-20,358	-11,128	-54	-60,483
支払利息	0	1,940	3,106	2,441	0	7,487
その他費用	0	737	7,860	18,713	0	27,310
事業支出合計	18,880	1,010,427	845,141	419,054	84,313	2,377,816
基本金組入額	0	0	0	0	0	0
国庫補助金等特別積立金取崩額	0	0	0	0	0	0
国庫補助金等特別積立金積立額	0	11,528	10,509	0	1,000	23,038
施設間繰入金支出	0	25,789	38,472	505	111,259	176,026
固定資産売却・処分損	0	45	114	24	0	183
その他の特別損失	0	0	0	0	0	0
支出合計	18,880	1,047,790	894,237	419,582	196,573	2,577,063
当期活動収支差額	36,251	60,660	26,508	-48,512	476	75,383
【繰越活動収支差額の部】						
前期繰越活動収支差額	488,297	255,180	328,326	219,215	11,764	1,302,784
積立金取崩額	0	0	0	0	0	0
積立金積立額	1	8,000	0	0	0	8,001
次期繰越活動収支差額	524,548	307,841	354,834	170,704	12,240	1,370,166

貸借対照表
令和7年3月31日現在

(単位: 円)

現金預金	370,873,319	未払金	68,988,304
未収金	319,671,159	その他の流動負債	131,334,469
たな卸資産	1,824,442		
その他の流動資産	13,085,762		
流動資産合計	705,454,682	流動負債合計	200,322,773
基本財産土地	619,632,722	長期借入金	715,444,000
建物	2,022,880,843	退職給付引当金	118,813,513
その他の固定資産	196,541,507	その他の固定負債	1,591,920
積立預金	55,493,540	固定負債合計	835,849,433
退職給付引当資産	118,813,513	負債合計	1,036,172,206
固定資産合計	3,013,362,125	基本金	395,390,772
		国庫補助金等特別積立金	861,593,929
		その他の積立金	55,493,540
		次期繰越活動収支差額	1,370,166,360
		資本合計	2,682,644,601
資産合計	3,718,816,807	負債・資本合計	3,718,816,807

881万円(829万円減)と

法人全体の資産は、37億1、

2024年度
決算について

881万円(829万円減)と

法人全体の資産は、37億1、

純資産は、26億8、264万円(3、640万円増)となりました。自己資本比率は、高いほど経営の安定性を表す数値ですが、72・1%(昨年71・0%)と増えました。

なりました。

比率です。引き続き赤字解消、運営資金確保、積立金増など経営改善にむけ努力していきます。



勤続表彰

多くの職員のみなさんに永年、名北福祉会を支えていただき心より感謝いたします。

保育部			
(正規職員)			
20年勤続	めいほく保育園 なえしろ保育園	高橋貴子 杉山淳子	
10年勤続	めいほく保育園 なえしろ保育園 なえしろ保育園 なえしろ保育園	富満真理 飯田榛那 水野徳洸 沈霞	
(短時間職員)			
10年勤続	めいほく保育園 めいほく保育園 なえしろ保育園 なえしろ保育園	金巻夏代 岡田雪会 鬼頭直見 大塚初美	
10年勤続	めいほく保育園 やだ保育園 やだ保育園 やだ保育園	諏訪晶子 駒村久美子 瀬戸孝子 矢野里美	
(正規職員)			
10年勤続			
(短時間職員)			
10年勤続	めいほく共同作業所 めいほく共同作業所 めいほく鳩岡の家 めいほく鳩岡の家 めいほく安井の家 めいほくホーム めいほく友の家	金井田雅子 杉浦かおる 佐藤義人 鈴木弘美 福原美紀 佐藤範子 濱田敏宏 服部利嘉	
高年齢部			
(短時間職員)			
20年勤続	めいほく町南の家	丹羽ちい子	
10年勤続	グループホームめいほく稲葉 薫		
地域生活部			
(契約職員)			
11年勤続	ケアプラン町南	松下真理	
(短時間職員)			
11年勤続	ヘルパーステーションそら	池田久美	
10年勤続	相談支援センターめいほく	中島良子	

勤続20年を迎え思うこと

めいほく保育園

高橋 貴子



正規職員として20年。臨時職員として働き始めた時から数えるとなんと25年、名北福祉会で働かせていただいています。今まで働いてこられたのは、今までたくさんの方に温かく見守り支えていただいたからです。

地域に根ざした取り組みの中で、私は、保育園で子育て支援担当をしたり、北区保育園団体連絡会事務局の時は、議員さんに保育、子育ての実情を伝えるに出向いたり、北区こどもまつりを運営しました。そんな中で地域の皆さんと顔見知りになり、みんなで力を発揮し合い願いを

現したり、楽しい取り組みをしました。これからも「できることは何かな」を軸に地域福祉の充実を職場の皆さんと共に担っていきたいです。

めいほく町南の家

丹羽 ちい子



あつという間の20年でした。いい人ばかりだったので、働き続けられて、良かったなと思うています。デイサービス町南の頃は午後介護や送迎もしました。おやつ作りや、流しそめんも楽しかったです。引き続きよろしく願います。



学校に行けない、行かない子どもたちの居場所「ぱれっと」近況報告



「ぱれっと」も、3年目を迎えました。今年度は、学校に再登校した中学生が一人減り、小学生が1人増え、小学生3人が中心に通っています。10代後半のボラさん、新しいボラさんも入られ、毎

回楽しく過ごしています。学校に行かなくても認めてくれる大人がいることが、子どもたちの安心につながっています。

先日は、子どもたちが企画した、「でんきの科学館」への遠出を楽しみました。子どもたちは、自分たちで行き先、行き方、行きたいアトラクションなどを

調べて、当日は楽しく参加でき、とても自信につながったようです。また別の日には、お母さんたちが中心になって、日頃の感謝の気持ちを込めて

大好きな唐揚げと一緒に作ってくださり、楽しく交流もできました。



学校に行けない、行かない子どもたちの居場所づくりにご協力をお願いします

ぱれっと
（ボランティアグループ東風の会）
代表理事 大村 義則さん
〒952-8501 新潟県新潟市東区大村1-1-1
大村ビル101号室
TEL 025-272-3366 FAX 025-272-3367

8月には、教育委員会主催の「支援する民間団体連絡会」にも参加し、交流しました。今後は、要望も伝えていきたいです。

● 9月からぱれっとの開催日が毎週木曜日から金曜日に変更します。

● 学校にいけず悩んでいる子どもや保護者の方に「ぱれっと」をお伝えください。

● 助成金（年間10万円）だけでは運営が厳しいため、寄付のご協力をお願いします。

公開講座

「戦後・被爆80年 ノーベル平和賞から核廃絶へ 草の根の運動を」

世界では戦争・紛争がおこり、核兵器の使用も危ぶまれる中、日本被団協がノーベル平和賞を受賞しました。さらに今年は戦後・被爆80年でした。今こそ核兵器廃絶に向けた、これからの運動について、授賞式にもご参加された大村

義則さんにお話していただきます。「平和こそ最大の福祉」です。次を担う、若い世代のみなさんにも、聞いていただきたい内容です。ぜひご参加ください。



お知らせ

公開講座

(参加費無料)

「戦後・被爆80年 ノーベル平和賞から核廃絶へ ～草の根の運動を～」

講師 大村 義則さん

(愛知県原水爆禁止協議会代表理事)



12/18 (木) 18:30～20:30

オンライン講座

参加ご希望の方は下記 QR コードまたは電話でご連絡ください。

☆お近くの名北の事業所、ふらっとる一むにお越しいただければ視聴いただけます。

お問い合わせ 052-910-3066

(名北福社会本部)





戦後・被爆 80 年 「上飯田まちかど平和まつり」



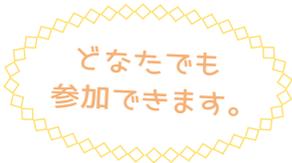
2025 年 12 月 7 日（日）10：00～14：00

上飯田南公園ステージ他にて

戦後・被爆 80 年の今年、世界では紛争が起き、日本でも戦争か平和かの大きな岐路に立たされています。子どもから大人まで、誰もが楽しみながら平和について考えるイベントを、上飯田で企画しています。ぜひご参加ください。



バンド・うたごえ・ダンス・合唱・太鼓・スピーチ・DJなど
得意なことで、平和のねがいを伝えよう！平和について対話しよう！
模擬店・フリマ・原爆パネル展示・被爆者によるお話など（予定）



出演者・出店者募集

QRコードからお申し込みください→



実行委員会

大軍拡・大増税NO! 北区連絡会、名北福祉会、北医療生協、名古屋北法律事務所など

名北福祉会を支える会の会員募集 夢のある豊かなまちを共につくりましょう!!

「平和で豊かな住みよい街づくりをすすめ、福祉の充実をめざします」に賛同する人たちの力で、法人が進めている事業や「みんなの夢」をかなえるための施設づくりを応援しています。支える会への加入をよろしくお願いいたします。

会員には、正会員と賛助会員、団体会員があります。	〈振込先〉
会費 正会員 1ヶ月 1口 500円（5口以上）	郵便振替口座
賛助会員 1ヶ年 1口 1000円	加入者名 社会福祉法人名北福祉会を支える会
団体会員 1ヶ年 1口 5000円	口座番号 00860-8-127322

名北福祉会では
各事業所で
正規職員を
募集しています
ぜひご応募ください

◆募集業種

保育士・生活支援員等・介護支援専門員（ケアマネージャー）

◇応募から採用まで

①書類選考 ②実習・実地体験 ③レポート提出 ④面接

◇お申込み・お問い合わせ

社会福祉法人名北福祉会 人事担当 TEL052-910-3066